



# 始まりに厳しく、 終わりに甘い？



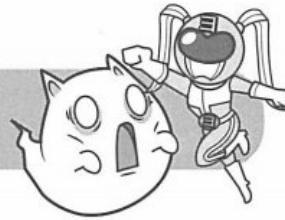
1 日本人は時間に正確だと言われます。日本の鉄道も、これほど時間通りに  
2 動いているのは世界でも珍しいと言われますし、新入社員に対して、入社  
3 後すぐに「5分前ルール」を厳しく教育する会社も少なくないといいます。  
4 また、期末テストの朝、チャイムが鳴ると同時に教師が閉めた校門に挟まれ  
5 て、その学校の生徒が亡くなるという、信じられないような事件が起きて、  
6 それが大きなニュースになったこともあります。  
7 それでは、日本人は本当に、時間に正確なのでしょうか。

8 何年か前、外国人と働く日本人の、ある書き込みがインターネットに載せ  
9 られて、それがちょっとした話題になったことがあります。  
10 その日本人は、外国人の同僚にこう言われたというのです。  
11 「日本人が時間に正確だというのは嘘だ。終業時刻を過ぎてもずっと仕事を  
12 していて帰ろうとしない。」  
13 わたしはその書き込みを見て、軽いショックを受けました。「日本人が時  
14 間に正確だというのは嘘だ」と言われたこともそうですが、「時間に正確で  
15 ある」ということについて、<sup>a</sup>こののような視点から考えてみたことが、今ま  
16 で一度もなかったからです。  
17 わたし自身、子どものころから遅刻は悪いことだと親や先生から厳しく言  
18 われ続けて、それを何も疑うことなく信じていました。しかし一方で、先生  
19 が授業の終わりを知らせるチャイムが鳴ったあとでも授業を続けることに、

心の中では「早く終わらないかな」と思っても、<sup>⑤</sup>それがおかしなことだと  
 思ったことは一度もありませんでした。さらには、大学受験に失敗して予備  
 校に通っていたときなど、先生が授業を延長してくれることに、感謝の気持  
 ちさえ抱いていました。

ところで、はじめに書いたように、この書き込みに何かを感じたのはわた  
 しだけではなく、ネットには数多くの人たちから意見が寄せられました。そ  
 こには、外国人の言葉に共感する人もいれば、否定的な人もいて、その理由  
 も様々でした。否定的なものの中には、「この外国人はただ残業をするのが  
 いやなだけで、こんなことを言っているのではないか」というような意見も  
 ありました。それに対して、「この『始まりに厳しく、終わりに甘い』とい  
 う考え方こそ、日本人の働き過ぎの原因になっているのだ」という指摘に、  
 わたしは目を引かれました。確かに、遅刻は1分も許さないが、延長は何時  
 間しても気にならないという考えが職場に持ち込まれれば、働く時間は当然  
 長くなるでしょう。それに、最近は「ノー残業デー」を定めて、残業をでき  
 るだけ減らそうと努力している会社もずいぶん多くなりましたが、「残業す  
 る社員イコール、仕事熱心な良い社員」という考え方は、今もなくなっています。  
 先ほどの、「この外国人はただ残業するのがいやなだけ」という意  
 見も、もしかしたらこのような、残業を良いこととして評価する考え方方が影  
 響しているのかもしれません。

国際化が進み、様々な国の人たちと接する機会が増えている日本人。そう  
 した時代の変化の中で、この書き込みは時間についてあらためて考える、一  
 つのチャンスをわたしたちに与えてくれたと言えるのではないでしょうか。



①. 「<sup>⑩</sup>このような視点から考えてみたこと」にいちばん意味が近いものは、どれですか。

- a 一緒に働く人を、「時間に対する正確さ」から評価したこと
- b 外国の人たちを、「時間に対する正確さ」から評価したこと
- c 「時間の正確さ」を、始まる時間の正確さから判断したこと
- d 「時間の正確さ」を、終わる時間の正確さから判断したこと

②. 「<sup>⑩</sup>それ」の内容を 10 字（「こと」を入れて 12 字）で書いてください。

									こ	と	
									5	10	12

③. 日本の会社では、どんな社員が評価されてきましたか。6字で書いてください。

--	--	--	--	--	--

④. <sup>ひつしょ</sup>筆者は、今回のインターネットの書き込みは、日本人にとってどんな意味があったと考えていますか。20字以上 25字以内で書いてください。

									20		25	

- ⑤ 下線に言葉を入れて、文を完成してください。

日本人は<sup>①</sup> \_\_\_\_\_と言われているが、本当にそうなのだろうか。何年か前、「日本人は<sup>②</sup> \_\_\_\_\_と言うのは<sup>③</sup> \_\_\_\_\_だ」という書き込みが<sup>④</sup> \_\_\_\_\_に載せられて、ちょっとした話題になったことがある。この書き込みには、<sup>⑤</sup> \_\_\_\_\_する人も、<sup>⑥</sup> \_\_\_\_\_な人もいたが、「『<sup>⑦</sup> \_\_\_\_\_に厳しく、<sup>⑧</sup> \_\_\_\_\_に甘い』という考え方が、日本人の<sup>⑨</sup> \_\_\_\_\_の原因になっている」という点に、筆者はとくに注目した。  
<sup>⑩</sup> \_\_\_\_\_化が進む中、日本人は<sup>⑪</sup> \_\_\_\_\_についても、あらためて<sup>⑫</sup> \_\_\_\_\_必要があるのかもしれない。

## 発 展



① 「読み物2」にあるインターネットの書き込みについて、あなたはどう思いますか。

② あなたの国では「始まる時間」と「終わる時間」について、どう考える人が多いですか。

③ \_\_\_\_\_